

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立北かわち阜が丘高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	①授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定）の向上 ②補習・講習への参加、家庭学習、資格取得などの生徒の学習意欲の向上 ③外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ④希望進路実現率の向上 ・難関・中堅私立大学への進学者数の増加 ・就職試験（1次）の合格率向上
計画名	さつき「授業力向上」プロジェクト ～進路実現のための素養（考える力、学ぶ意欲）を育む～

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	1 学力向上と進路実現 （1）教科指導を充実させ、生徒の学力を向上させる。 ア 学習に向かう意識を向上させるとともに、授業見学、校内研修、授業アンケート等により継続的な授業改善を図り、生徒の学力向上に結びつける。 イ 「魅力的な授業・わかる授業」を確実なものとし、さらに一歩進んで「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざす。 （2）自学自習する力を育む。 ア 家庭学習や補習・講習等の授業外学習に取り組む力を育成する。 イ 読書活動を推進するとともに、様々な資格取得の機会を提供し、前向きに取り組む意欲を向上させる。
事業目標	ICT 機器を随時使用できる環境を普通教室に整備し、すべての教員がそれを活用することにより、生徒同士が対話を通じて自身の考えをまとめ、発表・共有する等、生徒の主体的な活動を取り入れた「魅力的な授業・わかる授業」を実施する。 「授業力向上委員会」を組織し、ICT 機器を活用した研究授業や、教材開発・指導法の研究等、学校全体で「授業改善」を図ることにより、学校全体の授業の質を高め、より「主体的・対話的で深い学び」を実現する。また、授業改善による質の高い授業を提供することで、生徒の授業満足度や学習意欲の向上を図る。 また、大学の出前講座や体験授業への参加、他の府立高校の課題研究発表会等への参加を促進し、卒業後の進路に必要な素養を身につけさせる。また、資格試験等への取組みを推進し、資格取得による達成感や、次に繋がる学習意欲の醸成を図る。これらの取組みを通じて生徒たちが希望する進路の実現をめざす。
整備した 設備・物品	超短焦点プロジェクター 2台（HR教室） 壁設置型ロールスクリーン 14台 電源及び接続用ケーブル 14教室分
取組みの 主担・実施者	主担 ： 校長、教頭 授業力向上委員会（指導教諭、校長任命の教諭） 校内 ICT 環境整備 PT（情報主担、首席、教務部 ICT 担当、校長任命の教諭） 実施者：全教職員

<p>本年度の 取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全 HR 教室にプロジェクターを設置（2, 3 階は壁固定型、4 階はキャビネット収納） ○ Google Form の利用方法について教員向け研修をのべ3日実施した。アンケート機能を利用して行事終了後のアンケートや講習会参加申込を集約することで、集計業務の軽減を図ることができた。 ○ スライド用いて教材提示して展開する授業や教科書の本文を黒板に提示し利用する国語・英語等では、板書に割く時間が減り、設問に対する思考時間や発表する時間を確保することができた。 ○ 授業アンケート結果を各教員に配付する際、2次資料として質問項目の関連データを集約して提示することで、授業を振り返る資料とした。あわせて、振り返りシートの提出を必須とし、授業見学の振り返りの折に、担当教員と授業改善について協議を深めることができた。
<p>成果の検証方法 と評価指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定） …… 52% <ul style="list-style-type: none"> ・ 各科目の興味関心の醸成 ・ 知識・技能の習得感等の生徒意識の肯定的回答の割合 ・ 同アンケートにおける教材活用や授業展開に係る設問に対する肯定的回答の割合 ② 学校教育自己診断（生徒用）における家庭学習1時間以上の生徒の割合 …… 50% ③ 外部機関の客観的学力診断テストにおける学力（2年次のCゾーン以上の割合） …… 45% ④ 希望進路実現率の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 難関・中堅私立大学への進学者数 …… 20名 ・ 就職試験（1次）の合格率向上 …… 昨年度を上回る（71%）
<p>自己評価</p>	<p>① <u>授業アンケートにおける生徒の授業満足度（強い肯定）の向上</u> 49.0% …… (△) (R1 49% H30 48% H29 50%)</p> <p>プロジェクター導入後、授業満足度(肯定的回答) 興味関心の醸成 前期 80.27% ⇒ 後期 81.48% (↗) 知識・技能の習得感 前期 82.62% ⇒ 後期 82.60% (→) また、教材活用に関しては、前期 84.76% ⇒ 後期 85.56% (↗) 肯定的回答は高い割合で推移しており、活用の広まりと授業改善の進行を確認した。</p> <p>② <u>生徒の学習意欲（家庭学習1時間以上の生徒）</u> 28.9% …… (△) (R1 30% H30 41% H29 27%)</p> <p>授業日確保のために長期休業期間中に授業を設定した(長期休業期間があまりなかった)ため、補習・講習を十分に実施することができなかったこともあり、かつ、個別の課題配付等の指導も十分でなかったため、家庭学習の時間は、1時間以上の割合が、28.9%となり、今年度の取組として改善は見られなかった。今後、個々の進路目標を確認し、個別に必要な学習支援を更に推進する必要がある。</p> <p>③ <u>学力診断テストにおける学力評価（2年次のCゾーン以上の割合）</u> 28.9% …… (△) (R1 37% H30 39%、H29 29%)</p> <p>外部機関の客観的学力診断テストにおける学習到達ゾーン「Cゾーン以上」 1年生は、210人(1学期) → 214人(2学期) → 125人(3学期)と推移しており年度終了段階では、52.5%を維持した。 2年生は、3学期のみの実施で、「Cゾーン以上」は、68人(28.9%)のみとなった。 入学後のCゾーン減少傾向に歯止めをかけるため、②同様、進路目標の設定や個別の補習・講習等のさらなる取組が必要である。</p> <p>④ <u>希望進路実現率の向上</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 難関・中堅私立大学への進学者数 12名 …… (△) (R1 12名、H30 17名、H29 13名) <p>コロナウイルス感染防止に関連し、総合型選抜(旧AO)や学校推薦型選抜(旧公募制推薦)での受験を希望する生徒が多くみられた。校内での成績や模擬テスト等にて成果が見られる生徒も、自宅から通いやすい大学を選択する傾向にあり、結果として難関・中堅私</p>

	<p>立大学へ進学者は昨年同数となった。一部ではあるが、中堅私立大学を志望校とし、一般選抜まで取組続けた生徒もあり、学年末考査終了後も個別講習等により、苦手科目を克服し、志望校に合格した生徒もいる。最後まで諦めずに志望校へ取り組んだ事例等を下級生に紹介する等、引き続き、高い志を持つ生徒の支援に取り組む。</p> <p>・ 就職試験（1次）の合格率向上 55%……………（△） (R1 71%、H30 81%)</p> <p>1次合格率は、55%であり、昨年（R1）71%、一昨年（H30）81%に比べて下落した。コロナの影響も多少考えられる。</p> <p>一方で、就職試験の結果判明後の企業担当者との面談により、志望理由の深掘りや一般教養「数的処理」分野の強化等、本校就職希望者の課題を見出すことができた。次年度以降、80%以上の合格率をめざす。</p>
<p>次年度に向けて</p>	<p>今年度末に教員用コンパチブル端末の導入を予定しており、1学期から授業の振返りや教材提示等での利用を模索させる。（今回導入のプロジェクターによる提示）</p> <p>日々の授業改善と共に、総合的な探究の時間等による進路実現に向けた各種取組により、進路に対する目標設定や実現のためのプロセス確認等、生徒の学習活動の進捗状況を確認しながら実践を進める。</p> <p>また、2学期からは生徒1人1台端末の導入が予定されており、どのように活用するか等について校内での検討を深めるとともに、リテラシー研修により教員のスキル向上を図る。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	1,074,944	円
----------	------------------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
2 旅費	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
3 消耗需用費	1	マグネットスクリーン SR-HS80	¥28,380	14	¥397,320
	2	プロジェクター用壁掛け金具 YM-81	¥23,551	6	¥141,306
	3	HDMIケーブル 10M	¥2,453	14	¥34,342
	4	O Aタップ (4個口 10M)	¥3,630	14	¥50,820
	5	ステレオスピーカー	¥1,650	8	¥13,200
	6	Webカメラ	¥3,300	9	¥29,700
	7				
				小計	¥666,688
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
5 役務費	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
6 委託料	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
8 備品購入費	1	プロジェクター EPSON EB-685W	¥123,200	1	¥123,200
	2	プロジェクター EPSON EB-725Wi	¥285,056	1	¥285,056
	3				
				小計	¥408,256
9 工事請負費	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
				小計	¥0
				合計	¥1,074,944